

「新第5次振興計画素案」に係る地域説明会における質疑概要

日時	H23. 1. 24 19:30~21:00
会場	南部地区公民館
出席者数	20名
質疑の内容	<◇質問者、○副市長、●総合政策課長>
	<p>【まちの活性化、冬季のスポーツ振興】</p> <p>◇ 私の信条は多趣味健康論。夏はテニス、水泳をやっている。寒河江の街を歩いてみると街が死んでいる。街の活性化としてストリートミュージシャンの発掘を提案したい。ギターだけでなく、楽器は何でもいい。場所は寒河江駅前のロータリー、チェリーランドや最上川ふるさと総合公園などがある。市報で周知するとともに、車で宣伝を実施する。その効果として、うつ防止、ひきこもりの解消、歌を歌うことによる心肺機能強化などが見込まれる。下手でもなんでもいいので、こういうことをやっていくと市街地に人が出てきて経済も活性化してくる。東北では仙台でやっているし、山形市でも地下道にストリートミュージシャンがいる。フランスでは、ストリートミュージシャンの音楽に合わせて、年配の方々がその周りで踊っている。浅草のサンバのようなものでもいい。</p> <p>また、市の施設では冬、テニスや水泳ができない。屋根をかけてくれば、冬でもできる。民間の施設はあるが、やはり高い。寒河江市は遅れている。私が大きな声で歌いながら歩いていると、駅前の交番で声をかけられる。</p> <p>○ 共感できる部分が多い。平均寿命が延び、健康で生きられる時間が長くなってきている。60歳から20年間、自分に合うものを見つけて十分に楽しめる。その後、自分のやり方でさらに高みを目指すことができる。各自が自分に合ったものを究められるようになってきている。</p> <p>ストリートミュージシャンについて、駅前に区画整理で舞台ができた。今、ストリートジャズや焼き鳥bar、豆まきや盆踊りなど色々と試している。寒河江らしくなっていくかは、これからで、駅前でそういった舞台をつくっていきたいと考えている。</p> <p>冬期間の施設対策について、できれば冬期間はスキーなど雪を使って、子供たちに遊んでほしいと考えているが、外に出かけず、コタツに入ってゲームをするのではなく、冬期間でも体を動かせるように、計画の中にも屋外スポーツができる屋内運動場整備ということ載せている。</p> <p>◇ 私は、山形市のウェルサンピアや落合の運動場などに通っている。土日は子供がいっぱいで、落合にはスケート場があり、そこで滑っている上手な女の子は、強化選手に選ばれて、仙台にも行っているとのことだった。こういうふうに施設があれば子供はどんどん伸びる。テニスコートに屋根をかけたり、スポンジを準備すれば、雨でもできる。テニスコートが新しくなったときに、以前あった壁打ちの施設がなくなってしまった。そういうことが分か</p>

る職員が寒河江市にはいない。そういうことが分かる職員を採用しなければならない。

【婚活】

- ◇ 高齢化も進んでいるが、少子化が一番の問題。結婚しないと子供は生まれない。テレビで見ると、おばあちゃんを活用してお見合いを行い少子化対策しているというのがあった。とにかく子供が生まれないとダメ。ここに書かれている婚活を行っている団体への支援とはどういうものか。
- 近所を見ると、若くして結婚する人もいるが、30歳くらいを過ぎると結婚するのが遅くなり、経済的に自立している女性も多い。市でも昔、仲人をしてくれる方を結婚相談員として配置してやっていたが、こういうやり方では難しくなっている。婚活の支援で現在やっているのは、商工会青年部がスイーツやワインのパーティーをやって、300人くらい集まっている。これまで2回やっているが、少しずつ結婚につながるような流れも出てきている。仲人ではなく、同じ趣味を持った方があつまるといったイベントを増やした方が少子化対策につながると感じている。また、男性の比率が高い職場と女性の比率が高い職場などの橋渡しをするような活動をする団体も支援していきたい。
- ◇ 1つのことだけでなく、もっと色々なことをやらないと少子化は解消しないのではないか。
- 県でやろうとしているお見合いネットワークなど、いろいろな事業を複合的にやっていくことを考えている。

【買い物難民対策】

- ◇ 少子化はぜひとめていただきたい。南部地区では昔はスーパーがあったが、買い物する場所がなくなってきている。お年寄り昔は歩いて買い物に来ていた。こういう買い物をする場所の誘致などに寒河江市はまったく関知しないのか。
- はじめに個人商店、そして小さいスーパーがなくなっていった。原因はそこに需要がなかったからで、今は車で買い物に行ったり、インターネットで買い物をしたりしている。しかし、高齢者などの弱者が困るようになっている。市でスーパーを作っても、民間でダメだったのでうまくいかない。
- ◇ 行政はそういうことをやるべきではない。借金が増えるだけ。
- 買い物支援として、スーパーから配達してもらうことの支援や移動販売車など色々な方法がある。ここに、こういう需要があるということを伝え、高齢者などが不便をきたさないシステムづくり、地域支援体制をつくっていきたい。

【道路整備】

- ◇ 鯉屋道路を昔の三和電気のところにつなげればいいのではないか。
- 鯉屋道路は落衣島線として都市計画決定なっている。この振興計画の見直しを受けて、都市計画マスタープランも見直す予定なので、その中で検討される。
- ◇ バラをつくっているところをよければ、うまくつなげられるのではないか。
- (総合政策課長補佐)
鯉屋道路を拡幅するという話は前から出ている。通学や買い物にも使われる道路で不便だと言われている状況。今、道路の整備で一番要望が多いのが市立病院前のヨークベニマルから中学校までの道路。一番、重要度が高いので、現在、整備している下釜山岸線の次はここを整備する予定で、この5年間ではここくらいまでしかできないのではないか。3年後くらいには、次の振興計画を考えなければならなくなり、その中で検討されることになる。この5年間では鯉屋道路に手をかけることはできないので、待避所の整備などで対応する予定。
- ◇ 計画上では、112号の内回りバイパスという位置づけである。
- 生活道路整備計画というものがある。市内の各所に生活上重要な道路がある。その計画の中で、重要度を決めて対応していきたい。南部地区だけでなく、他の地区にもいろいろ重要な道路がある。
- ◇ 南部地区は、鯉屋道路には相当神経質になっている。鯉屋道路は生活道路という意味合いが強い。都市計画道路になっているといつまでも建設にならない。9m道路でも十分と考えているので、生活道路ということに作戦変更してやっていきたいというふうに考えている。
- どうやれば一番早くできるのか、一緒に考えていきたい。

【ユーモアのある施策を】

- ◇ 大変よくまとめられているが、一つくらい艶、色気のようなものがあってもいいのではないか。最近は大変なバカになったりユーモアを持ったりということが少なくなった。地域力が弱くなっていることの一つの原因と考えている。ユーモアのある施策が必要なのではないか。昔、寒河江まつりで仮装行列があり、とても人気があった。全国方言大会、かくし芸大会、仮装大会などユーモアのあるものがあってもいいのでは。この計画は楽しみよりも義務的なものが多い気がするので、ユーモアのある人づくりなどを取り上げれば、この計画が柔らかくなるのではないか。

【地域座談会等の状況の公表等】

- ◇①地域座談会などの質疑と回答をホームページにどんどん載せるべき。そうしていくと市民は余計な質問をしなくても良くなる。市道の整備が重要ということであれば、質問に対してここに書いてあるというのではなくて、最初に説明してほしい。

②パブリックコメントはいつからなのか。

③30年ほど前に市外から移ってきたが、寒河江市はさくらんぼの町ということで、さくらんぼを送りアピールしてきた。そういう人に対する支援などあっても良かったのではないか。

④長岡山の整備をするということで、おそらくつつじ公園だと思われるが、新しいことだけではなく、これまでやってきた花咲かフェアや神輿の祭典など、今やっているものの計画というものを書いてもいいのではないか。

⑤都市計画のマスタープランの見直しをするということだが、こういう計画はなかなか見えてこない。駅前から島に道路がまっすぐできるという話があったが、先日、市に問い合わせたところ、今はその計画が変わってしまっているということだった。マスタープランは計画なので何でもできる訳だが、スパンが長いので、計画の変更について知らせるといったことなどに気をつけていただきたい。

- マスタープランは方向性を書くもので、それに対する評価という視点が欠けていた。こういった計画も1年ごとにその実施状況を市民の皆さんに報告していくことを考えている。お金がなくてできなくなったとか、1年間でこれだけできたとか。誰からも信頼される計画にしていきたい。

日本一さくらんぼの里は行政や農協の宣伝でつくった訳ではない。市民の皆さんがさくらんぼを送ったりすることでつくられたもの。これからさくらんぼのまちをつくっていくには、物心両面で市民、行政協力してやっていかなければならない。

- ◇ それに対する市の支援については、回答は結構です。
- 長岡山といえば、つつじであるが松もある。市民の憩いの場として行きやすくなるきっかけづくりとして整備してはどうかという意見があり載せている。これまではチェリーランドや最上川ふるさと総合公園など新しいところに拡大して整備を進めてきたが、これまでであったものに改めて目を向けるということも出てきている。
- パブリックコメントは21日からホームページや地区公民館に資料を置き実施している。地域座談会は年度でまとめて載せており、振興計画の説明会の内容は1回しかやっていないので、その内容をホームページに掲載している。
- ◇ 1回だけじゃなく何か所かでやっているのでは。
- 市内4か所で1回ずつやっているのだから、その内容をホームページに載せている。
- ◇ 年度ごとにまとめるのではなく、随時ホームページに載せてほしい。

【市議会のネット中継】

- ◇ 今年のように雪が多いと行けないので、市の議会を国会のように動画中継などできないのか。
- 現在、議会で様々なことを検討している。4月に選挙があるので、新しい

議員が決まったら、いろいろなことが検討される予定。

【さくらんぼの種吹き飛ばし】

- ◇ 市議はいらないのではないか。町会長で十分。さくらんぼの種飛ばしは汚い。投げるやり方などに変更できないか。
- 市議会については、色々な考え方がいらっしゃる。種飛ばしについては、ユーモアということで理解していただきたい。

【予防接種】

- ◇ 予防接種の充実とあるが、子宮頸がんワクチンへの取組みはどうか。
- ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンの3つが話題になっている。補正予算を組んで、2月からヒブワクチンと小児肺炎球菌ワクチンについては助成を実施する。子宮頸がんについては、接種する方を増やすため、色々勉強会を開催し、今、中学3年生は受験でもあるので、4月以降中学1年生から高校1年生までを対象に実施する予定。
- ◇ 誰を対象にするかということで市の姿勢が分かる。大変ありがとうございます。

【観光振興、農業振興】

- ◇ 観光関係について、県内でも色々ないい発想がある。うまくいっているかは分からないが、上山市のクアオルト事業など滞在してもらうような取組みをしている。寒河江でもみこしだけではなく、テーマコースを設定するなど2、3日滞在してもらうような仕掛けが必要。仮装行列や慈恩寺へのトロッコ列車など、失敗してもいい。

また、高校再編について、方向性がずれて、当初うまくいっていなかったが、最近うまくいってきている。私も前面に出て活動しているが、農業校舎がなくなるということが寒河江市にとって課題となる。左沢高校と統合されるようだが、農業振興という観点で、左沢高校に統合して充実した方がいいのか、農業校舎としてあってやっていった方がいいのか、考えてほしい。村山市のガールズ農場は大変いい活動。成功すると足を引っ張る人もいるようだが、寒河江市でもこういうことをやってほしい。

【高齢者の足の確保】

- ◇ とても夢を持てるような計画になっている。具体的にワークショップのところで、全部やっていただければいいと思っているが、高齢者一人暮らしの世帯で足が悪く、車がないと買い物にも医者にも行けない状況である。実証実験という話があったが、山交との兼ね合いということは分かるが、バス停まで歩けず、高い金をかけてタクシーで行っている方もいる。山辺

町や西川町のように、路線バスというか、高齢者の足を確保してほしい。
一刻でも早く実証実験に取り掛かってほしい。